

日立システムズはこのほど、働き方改革や健康経営の推進を目的とした検証施設「Connect S M I L E ∞ L A B O (コネクトスマイルラボ)」を本社地区事業所内に開設した。従業員に対して働き方改革や健康経営を支援する製品、サービスを中長期的に実証し、結果を実際の働き方および健康経営に生かしていく。

開設したラボには働き方改革と健康経営につながる様々な要素がちりばめられており、利用者が新たな発想を生んだり、行動改革につながるような環境がつけられている。

働き方改革や健康経営を推進

日立システムズが検証施設を開設



本社地区事業所内に開設した「Connect S M I L E ∞ L A B O (コネクトスマイルラボ)」

出張者向けサテライト席の設置をはじめ、働き方改革や健康経営に関するコーポレートメッセージを発信するデジタルサイネージ、電子ホワイトボードなど各種コミュニケーションツールを設置したスペースがある。各スペースには全てセンサーが付けられており、常に利用状況を確認できるため、打ち合わせスペース不足の解消や会議の生産性向上にもつなげられるようになる。

併せて健康経営につながるサービスも充実させた。ラボには日常の声から心の健康状態をチェックできる同社クラウドサービス「音声こころ分析サービス」が使えるロボットを設置。ロボットに話しかけるだけで音声データを取得し、チェックできるようにした。

そのほか、空気を殺菌する紫外線殺菌装置や、ヘルスケア関連サービスで協業を進めているタニタグループの体組成計、血圧計も設置。タニタコーヒーも提供し、健康維持と健康意識の向上を促していく。

同社は社内実証に加え、オフィス空間を設計デザインする企業などと連携し、健康経営を実現するオフィス空間の構築支援なども行っていくとしている。